

平成 28 年度『復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業』  
會津稽古堂・会津大学協働事業「あいづまちなかキャンパス」  
～見て聴いて学ぶ！会津の歴史と文化～

平成 29 年 1 月 7 日（土）、會津稽古堂で「あいづまちなかキャンパス」～見て聴いて学ぶ！会津の歴史と文化～が開催されました。

このイベントは、會津稽古堂開館 5 周年事業と会津大学授業「会津の文化と歴史」のタイアップ事業です。GL 事業の一環として「会津の文化と歴史」に参加している本校 GL 部の生徒 19 名が参加しました。参加した生徒は、一般参加の市民の方々や会津大学生（留学生および日本人学生）とともに、年齢や国籍を超えたグループに分かれて受講しました。

まず、会津歴史考房主宰で元図書館館長の野口 信一氏より、会津の歴史について講義をいただきました。留学生や、他県出身の会津大学生向けに構成された野口先生のお話は、わかりやすいだけでなく大変興味深いものでした。講義後の質疑応答では、GL 部の生徒が活発に質問する姿が見られました。



講義の後、稽古堂 1 階で開かれている「古地図・古写真・絵画でたどる懐かしの会津」展を鑑賞しました。自分の住んでいる地域の写真等を探したり、100 年以上前の詳細な地図を見て感心したりしながら、グループワークに向けた課題としてそれぞれ「お気に入りの 1 枚」を探しました。

鑑賞後は、グループ毎に展覧会で見つけた「お気に入りの 1 枚」について話し合い、一般市民の方や大学生との交流を深めました。最後の発表では、本校生を代表して 1 名が英語で「お気に入りの 1 枚」とその理由を発表しました。

GL 部の生徒達は、地元の高校生として、知っていることを話したり質問したりと積極的に参加することができました。また、留学生向けの英語通訳を聞いたり、英語で発表したりして、英語に触れ、使ういい機会にもなりました。何より、世代や国籍を超えて交流しながら地域について学べたことは、貴重な経験となりました。

